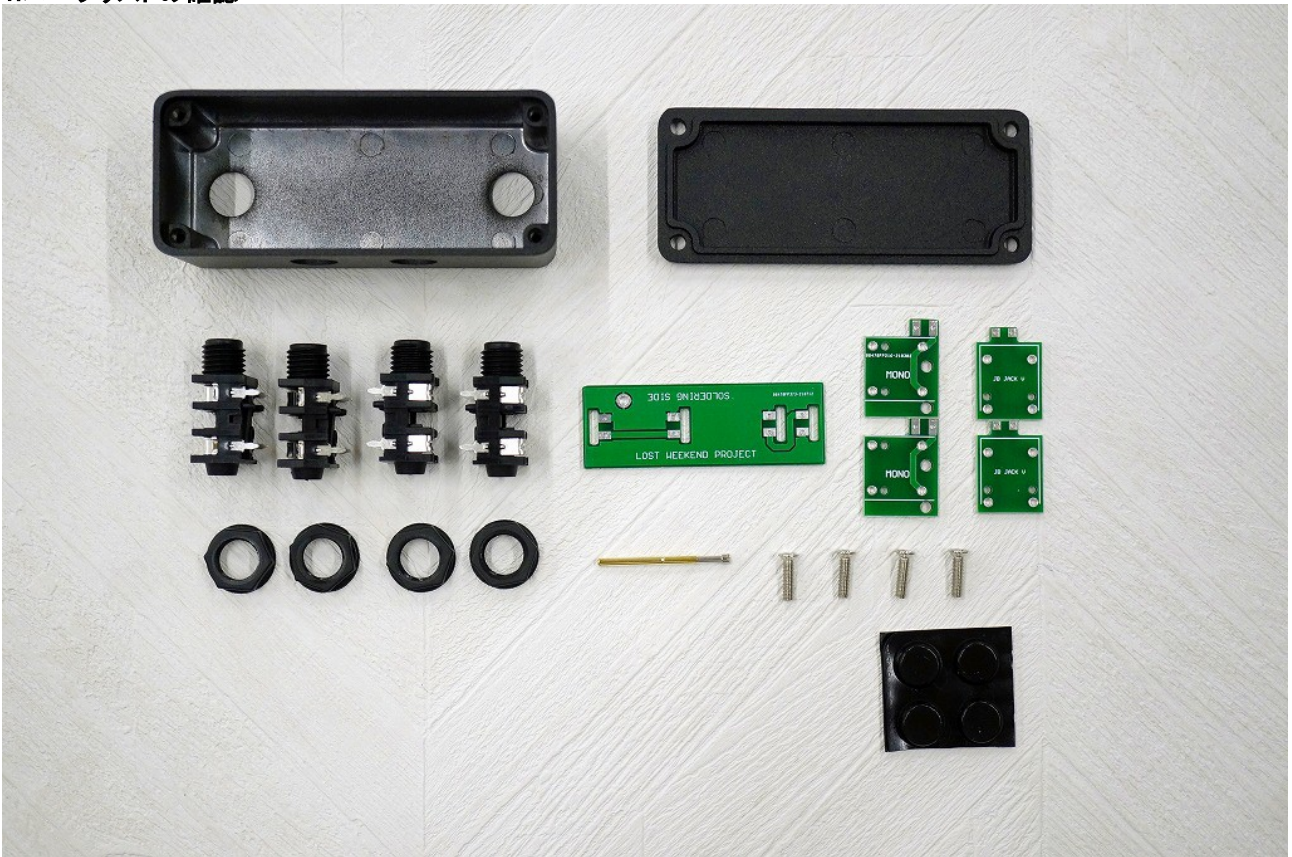


One Control / LWP Series Junction Box Kit

このたびはワンコントロール エルダブリュービーシリーズジャンクションボックスキットをお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
制作に入る前に、必ずパーツリストをご確認いただき、パーツの欠品等が無いことをご確認ください。
万が一欠品等ございました場合は、お買い上げいただきました楽器店までご連絡ください。

1. パーツリストの確認



パーツリスト

- 1× ケース(穴開け済)
- 1× ケース裏蓋
- 4× モノラルジャック
- 4× ナット(ブラック)
- 1× メイン PCB
- 2× ジャック PCB 上側(JB JACK Vと記載)
- 2× ジャック PCB 側面(MONOと記載)
- 1× グラウンドバー(金色と銀色の組み合わせった棒)
- 4× 裏蓋ネジ
- 1× ゴム足セット

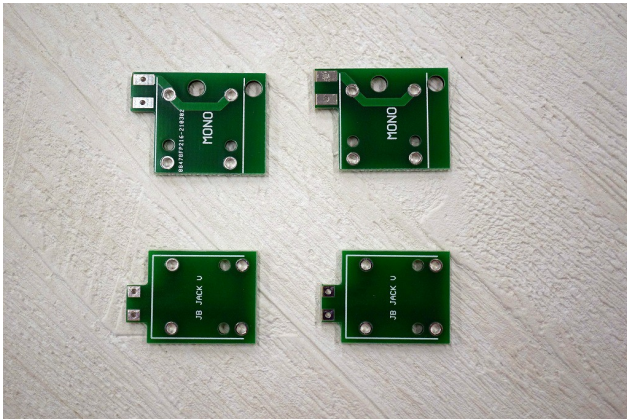
付属品が不足していないことを確認してから製作を行います。製作をはじめてしまうと、交換等のご対応ができない場合がございます。

必ずパーツが不足していないことをご確認ください。

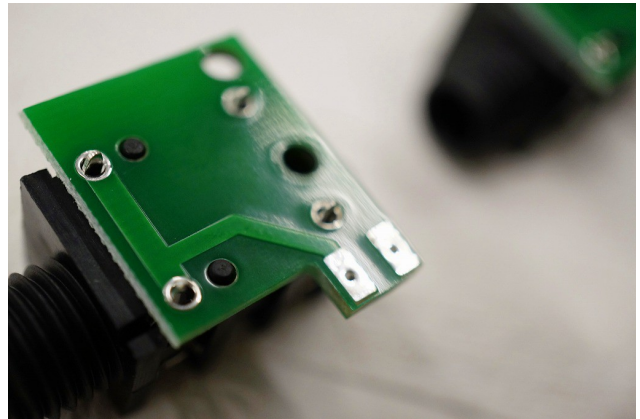
また、製作には以下の器具が必要です。

- ・はんだごて
- ・はんだ
- ・ドライバー
- ・6角レンチ

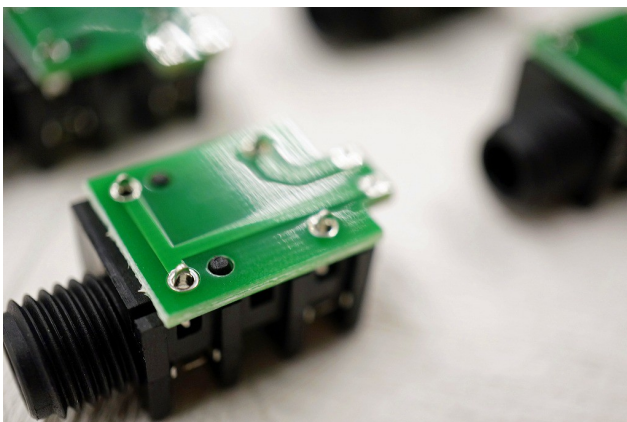
2.ジャックを PCB に組み込み



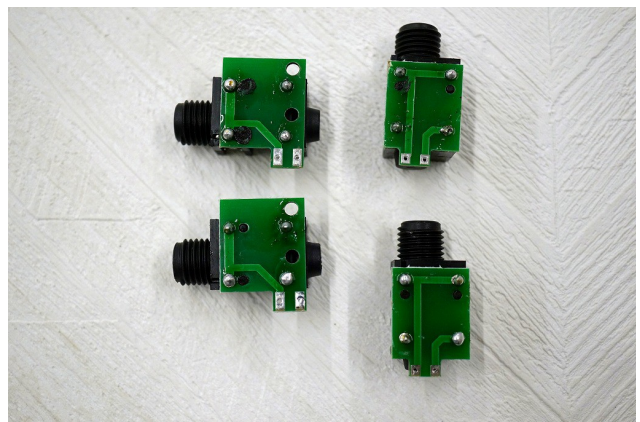
ジャック用の PCB をジャックに取り付けます。基板に文字がかかっている側にジャックを取り付けます。



このように、ジャックの突起部と基板の穴を合わせて取り付けます。これは側面用 PCB です。



上面用ジャックの PCB の取り付け。こちらも同様にジャックの突起と基板の穴を合わせて取り付けます。



取り付けたら、各ジャック4つずつの端子部をはんだ付けします。

3.メイン PCB の仮組み



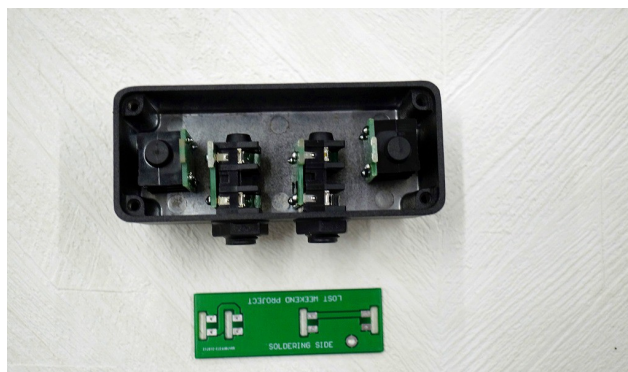
まず、上面側のジャックをケースに組み込みます。この時基板が内側を向くように取り付けます。



ゆるくナットで固定します。強く締める必要はありません。



側面のジャックを取り付けます。



この時、側面のジャックを手前側に置いて、基板が左を向くようにします。メイン PCB の穴と4つのジャックの基板の突起が合うようにします。SOLDERING SIDE と書かれた面が上になる位置と合わせます。



4つのジャックの基板にある突起がメイン PCB の穴に入るよう、ジャックの角度を微調整します。しっかりと奥まで入るまで調整してください。

ジャックの位置が調整できたら、そのままメイン PCB を押さえながらナットをしっかりと締めます。

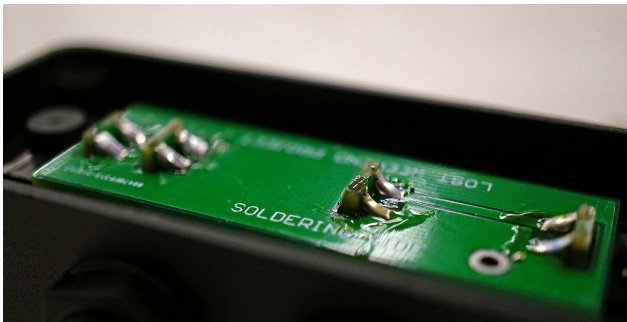
4.メイン PCB の組み込み

メイン PCB とジャックの基板がしっかりはまったら、接合部をはんだ付けします。



※はんだの量が少ないと、しっかりと通電しないことがあります。特にジャック側基板のアイレットの内部まではんだが浸透する程度にはんだを付けます。

また、隣の端子のはんだが付かないよう注意してはんだ付けを行います。



この時点で、上面と側面の端子がそれぞれ通電することを確認します。裏蓋が開いたままでケースのシールドリングがないため少しノイズですが、それはこの時点では問題ありません。

5.グラウンドバー

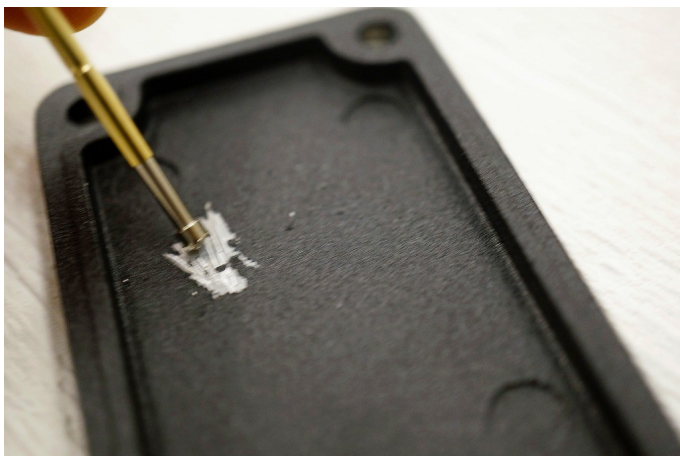
グラウンドバーを設置します。グラウンドバーは、基板とケース(裏蓋)をつなぐもので、ケースでシールドングを行う際に使用します。スピーカーケーブルのジャンクションボックスとして使用する際など、ケースのシールドングを行いたくないときは設置する必要はありません。

通常のギターとペダルボード間で使用する場合は設置することを推奨します。

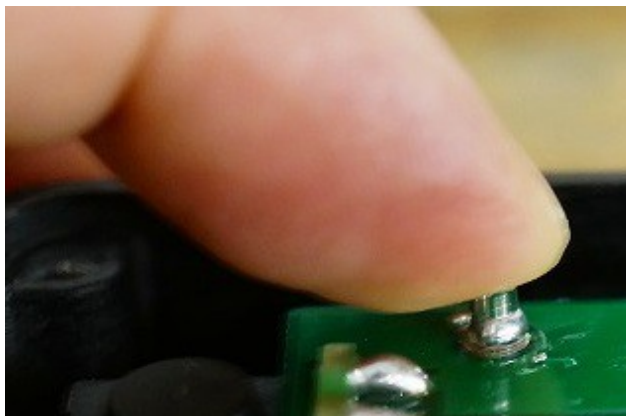
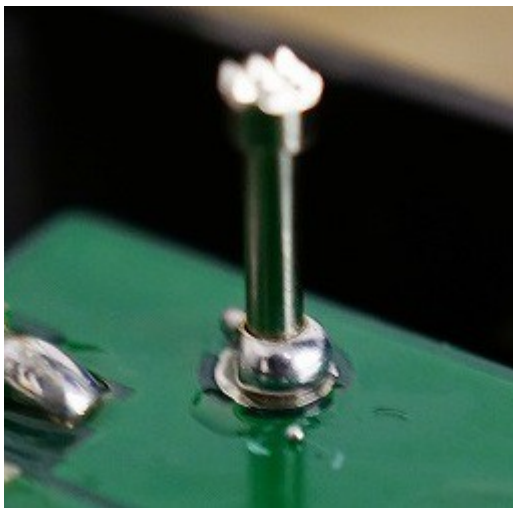


まず、メイン PCB の穴にグラウンドバーを通します。そのままケース上面に当たるまでバーを通し、その時点で PCB からバーの金色の部分が出ていることを確認します。

確認したら、そのまま裏蓋を合わせ、グラウンドバーが裏蓋のどの位置にあたるかを確認します。



裏蓋のグラウンドバーがあたる位置の塗装をかるく剥がします。グラウンドバー先端をつかうと楽に剥がせますが、ここで力をいれすぎるとバーが曲がってしまいますので慎重に行ってください。マイナスドライバー等、お手持ちの工具をご使用いただいても問題ありません。塗装を剥がすことで、グラウンドバーとケースが通電するようになります。



はんだをつけたら、バーが動くことを確認します。上から指で押さえてバーが動けば問題ありません。

グラウンドバーをはんだ付けします。この時、**銀色のバーにははんだを付けないでください。**はんだの量が多すぎると、銀色と金色のバーの隙間にはんだが流れ込んで固着し、バーが動かなくなります。はんだを少なめに固定します。



これで全てのはんだ付けの工程が終わりました。最後に各ジャックのナットを強く締め、裏蓋をグラウンドバーと塗装を剥がしたところが合うようにして取り付け、ネジ留めします。

6.完成



これでジャンクションボックスが完成しました。

お好みで裏蓋にゴム足を取り付けてご使用ください。面ファスナー等でボードに固定する場合はゴム足を使わない方が設置しやすくなります。

